2021.11/1-11/10 イスラエルチーム体験談　1

■エレミヤ宮下（TLEA東京アンテオケ教会牧師）

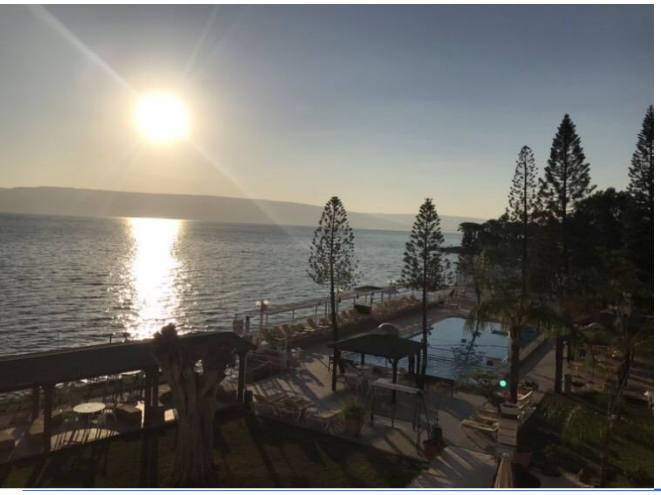
2021年11月1日から10日までの間、聖所から流れ出る水ミッションからイスラエルチームが遣わされました。今回はコロナウイルス感染症の規制で、観光ツアーのグループをイスラエル側が受け入れていない中で、政府のパイロットプログラムということで特別に入国の許可を受けてのチームとなりました。

11月1日エルサレムに着き、2日、3日オリーブ山のセブンアーチーズホテルの前の庭で祈り込み、4日目にはガリラヤへ移動して、夜の聖会でレオン牧師のメッセージ、5日金曜日は一日ガリラヤ湖畔で祈り込み、6日土曜日にはレオン牧師の教会、Return to Zion Congregationで、秋元牧師のメッセージと木原牧師の証し、Giftsと森牧師チームの賛美の時と昼食会が持たれました。7日の新年度礼拝で年度のみことばの解き明かしをパウロ秋元牧師がされ、夜には病院の方がホテルまで来てくださり、ＰＣＲ検査をして、翌日８日月曜日の夜の聖会のあと、ベングリオン空港から帰国という日程でした。年度のみことばとしては、ヨハネ14:12「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。わたしが父のもとに行くからです。」が語られ、主が地上でなされたわざ、またそれよりも大きなわざをキリストご自身が私たちを通してなされることが語られました。

ベングリオン空港に到着したチーム

個人的なことになりますが、私自身は、5日金曜日、聖会後にガリラヤ湖畔で祈ったとき、再献身の祈りが導かれました。残りの生涯と能力などすべてを終わりの時代の刈り取りの働きのために主に再び捧げると、上から何かが注がれてくる感覚があり、「私はその祈りを聞いた」と心の内に語りかけがありました。

みなさまのとりなしのお祈りを心から感謝いたします。



ガリラヤ湖